

tatara 撥水セラミックシリーズ 試験対応実状 2025.07/04				
	商品名	F★★★★	食品安全分析試験	備考
●撥水セラミック	・ 撥水セラミック（マルチ）	●	●	MSDS
	・ 撥水セラミックHD	●	●	MSDS
	・ 撥水セラミックオイル	●	●	MSDS
	・ 撥水セラミックヤケ止め屋内用	●	●	MSDS
	・ 撥水セラミックヤケ止め屋外用	必要なし	必要なし	MSDS
●輪染みアク止め	・ 輪染みアク止め	●	●	MSDS
●撥水無機ウッド	・ 撥水無機ウッド	●	●	MSDS
	・ 撥水無機ウッド屋内ヤケ止め	●	●	MSDS
	・ 撥水無機ウッド屋外ヤケ止め	必要なし	必要なし	MSDS



試験結果報告書

徳永家具工房 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
支部長 山田 卓司
〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町十二丁目20番3

依頼No.166314

報告日：平成28年10月31日

支部長



品 名	t a t a r a 撥水セラミック (撥水セラミック) (Lot No. ———)	試料受付日	平成28年 9 月30日
		試料採取日	平成 — 年 — 月 — 日
		試 料 採 取 場 所	—————
製 造 者	徳永家具工房	試 料 数 量	50 g
試 験 項 目	成 績	規 格	
		試 験 方 法	
ホルムアルデ ヒド放散量 (mg/L) 7日後	① 不検出(測定下限値0.030) ② 不検出(測定下限値0.030) 平均 不検出(測定下限値0.03) 以 上	<p>JIS K 5601-4-1:2012「塗料成分試験方法— 第4部：塗膜からの放散成分分析— 第1節：ホルムアルデヒド放散量の求め方」 5. デシケータ法に準拠 依頼者の申し出により、以下の水の量を100mLで行った。 5.8.1 b) 結晶皿の水の量100mL 5.8.6 定量方法 a) 吸光光度法による。 5.9 d) 試験条件：温度23±2℃、湿度(50±5)% 5.9 e) 測定機器：吸光光度計、石英セル、光路長10mm 5.9 f) 空試験の値：0.0011Abs(吸光度) 5.9 g) その他の必要事項 希釈溶剤の有無及び希釈率：希釈なし 塗装回数：1回塗り (はけ塗り) 塗り付け量 (希釈前の塗料換算量)： 35 g/m² 試験板の種類：アルミニウム板 試験期間 平成28年10月 6 日～平成28年10月14日</p>	



試験結果報告書

徳永家具工房 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部

支部長 山田 卓司

〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町1丁目20番3

依頼No.166315

報告日：平成28年10月31日

支部長



品 名	t a t a r a 撥水セラミックHD (撥水セラミックHD) (Lot No. ———)	試料受付日	平成28年 9 月30日
		試料採取日	平成 — 年 — 月 — 日
		試 料 採 取 場 所	———
製 造 者	徳永家具工房	試料数量	50 g
試 験 項 目	成 績	規 格	
		試 験 方 法	
ホルムアルデ ヒド放散量 (mg/L) 7日後	① 不検出(測定下限値0.030) ② 不検出(測定下限値0.030) 平均 不検出(測定下限値0.03) 以 上	JIS K 5601-4-1:2012「塗料成分試験方法— 第4部：塗膜からの放散成分分析— 第1節：ホルムアルデヒド放散量の求め方」 5. デシケータ法に準拠 依頼者の申し出により、以下の水の量を100mLで行 った。 5.8.1 b) 結晶皿の水の量100mL 5.8.6 定量方法 a) 吸光光度法による。 5.9 d) 試験条件：温度23±2℃、湿度(50±5)% 5.9 e) 測定機器：吸光光度計、石英セル、光路長10mm 5.9 f) 空試験の値：0.0011Abs(吸光度) 5.9 g) その他の必要事項 希釈溶剤の有無及び希釈率：希釈なし 塗装回数：1回塗り (はけ塗り) 塗り付け量 (希釈前の塗料換算量)： 35 g/m ² 試験板の種類：アルミニウム板 試験期間 平成28年10月 6 日～平成28年10月14日	



試験結果報告書

徳永家具工房 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部

支部長 山田 卓司

〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町二丁目20番3

依頼No.166316

支部長

報告日：平成28年10月31日



品 名	tatara 撥水セラミックオイル (撥水セラミックオイル) (Lot No. ———)	試料受付日	平成28年 9 月30日
		試料採取日	平成 — 年 — 月 — 日
		試 料 採 取 場 所	———
製 造 者	徳永家具工房	試 料 数 量	50 g
試 験 項 目	成 績	規 格	
		試 験 方 法	
ホルムアルデ ヒド放散量 (mg/L) 7日後	① 0.103 ② 0.107 平均 0.11 以 上	JIS K 5601-4-1:2012「塗料成分試験方法— 第4部：塗膜からの放散成分分析— 第1節：ホルムアルデヒド放散量の求め方」 5. デシケータ法に準拠 依頼者の申し出により、以下の水の量を100mLで行 った。 5.8.1 b) 結晶皿の水の量100mL 5.8.6 定量方法 a) 吸光光度法による。 5.9 d) 試験条件：温度23±2℃、湿度(50±5)% 5.9 e) 測定機器：吸光光度計、石英セル、光路長10mm 5.9 f) 空試験の値：0.0011Abs(吸光度) 5.9 g) その他の必要事項 希釈溶剤の有無及び希釈率：希釈なし 塗装回数：1回塗り (はけ塗り) 塗り付け量 (希釈前の塗料換算量)： 12 g/m ² 試験板の種類：アルミニウム板 試験期間 平成28年10月 6 日～平成28年10月14日	



試験結果報告書

徳永家具工房 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
支部長 山田 卓司
〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町一丁目20番3

依頼No.166317

報告日：平成28年10月31日

支部長



品 名	tatara 撥水セラミック ヤケ止め屋内用 (撥水セラミック ヤケ止め屋内用) (Lot No. ———)	試料受付日	平成28年 9 月30日
		試料採取日	平成 一 年 一 月 一 日
		試 料 採 取 場 所	———
製 造 者	徳永家具工房	試 料 数 量	50 g
試 験 項 目	成 績	規 格	
		試 験 方 法	
ホルムアルデ ヒド放散量 (mg/L) 7日後	① 不検出(測定下限値0.030) ② 不検出(測定下限値0.030) 平均 不検出(測定下限値0.03) 以 上	<p>JIS K 5601-4-1:2012「塗料成分試験方法— 第4部：塗膜からの放散成分分析— 第1節：ホルムアルデヒド放散量の求め方」 5. デシケータ法に準拠 依頼者の申し出により、以下の水の量を100mLで行った。 5.8.1 b) 結晶皿の水の量100mL 5.8.6 定量方法 a) 吸光光度法による。 5.9 d) 試験条件：温度23±2℃、湿度(50±5)% 5.9 e) 測定機器：吸光光度計、石英セル、光路長10mm 5.9 f) 空試験の値：0.0011Abs(吸光度) 5.9 g) その他の必要事項 希釈溶剤の有無及び希釈率：希釈なし 塗装回数：1回塗り (はけ塗り) 塗り付け量 (希釈前の塗料換算量)： 12 g/m² 試験板の種類：アルミニウム板 試験期間 平成28年10月 6 日～平成28年10月14日</p>	

試験結果報告書

徳永家具工房 殿



一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部

支部長 山田 卓司

〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町1丁目20番3

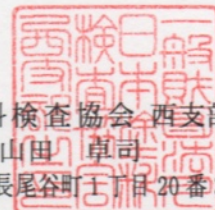
依頼No.205930

報告日：2020年 8 月20日

支部長	担当者
	

品 名	t a t a r a 輪ジミ・アク止め (輪ジミ・アク止め) (Lot No. ———)	試料受付日	2020年 7 月16日
		試料採取日	2020年 7 月 1 日
		試料採取場所	提出 (徳永家具工房)
製 造 者	徳永家具工房	試料採取者	tatara-hanbai合同会社 佐々木 武
		試料数量	50mL
試験項目	結 果	試 験 方 法	
ホルムアルデヒド放散量 (mg/L) 7日後	① 不検出(測定下限値0.030) ② 不検出(測定下限値0.030) 平均 不検出(測定下限値0.03) 以 上	<p>JIS K 5601-4-1:2012「塗料成分試験方法— 第4部：塗膜からの放散成分分析— 第1節：ホルムアルデヒド放散量の求め方」 5. デシケータ法に準拠 依頼者の申し出により、以下の水の量を100mLで行った。 5.8.1 b) 結晶皿の水の量100mL 5.8.6 定量方法 a) 吸光光度法による。 5.9 d) 試験条件：温度23±2℃、湿度(50±5)% 5.9 e) 測定機器：吸光光度計、石英セル、光路長10mm 5.9 f) 空試験の値：0.0022Abs(吸光度) 5.9 g) その他の必要事項 希釈溶剤の有無及び希釈率：希釈なし 塗装回数：1回塗り (はけ塗り) 塗り付け量 (希釈前の塗料換算量)：15g/m² 試験板の種類：アルミニウム板 試験期間 2020年 7 月27日～2020年 8 月 4 日</p>	

試験結果報告書



一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
 支部長 山田 卓司
 〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町一丁目20番3

徳永家具工房 殿

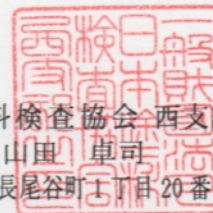
依頼No.205931

報告日：2020年 8 月20日

支部長	担当者

品 名	t a t a r a 撥水無機ウッド (撥水無機ウッド) (Lot No. ———)	試料受付日	2020年 7 月16日
		試料採取日	2020年 7 月 1 日
		試料採取場所	提出 (徳永家具工房)
製 造 者	徳永家具工房	試料採取者	tatara-hanbai合同会社 佐々木 武
		試料数量	50mL
試験項目	結 果	試 験 方 法	
ホルムアルデヒド放散量 (mg/L) 7日後	① 不検出(測定下限値0.030) ② 不検出(測定下限値0.030) 平均 不検出(測定下限値0.03) 以 上	JIS K 5601-4-1:2012「塗料成分試験方法— 第4部：塗膜からの放散成分分析— 第1節：ホルムアルデヒド放散量の求め方」 5. デシケータ法に準拠 依頼者の申し出により、以下の水の量を100mLで行った。 5.8.1 b) 結晶皿の水の量100mL 5.8.6 定量方法 a) 吸光光度法による。 5.9 d) 試験条件：温度23±2℃、湿度(50±5)% 5.9 e) 測定機器：吸光光度計、石英セル、光路長10mm 5.9 f) 空試験の値：0.0022Abs(吸光度) 5.9 g) その他の必要事項 希釈溶剤の有無及び希釈率：希釈なし 塗装回数：1回塗り (はけ塗り) 塗り付け量 (希釈前の塗料換算量)：20g/m ² 試験板の種類：アルミニウム板 試験期間 2020年 7 月27日～2020年 8 月 4 日	

試験結果報告書



一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
支部長 山田 卓司
〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町一丁目20番3

徳永家具工房 殿

依頼No. 205932

報告日：2020年 8 月 20 日

支部長	担当者

品 名	tatara 撥水無機ウッド屋内ヤケ止め (撥水無機ウッド屋内ヤケ止め) (Lot No. ———)	試料受付日	2020年 7 月 16 日
		試料採取日	2020年 7 月 1 日
		試料採取場所	提出 (徳永家具工房)
製 造 者	徳永家具工房	試料採取者	tatara-hanbai合同会社 佐々木 武
		試料数量	50 mL
試験項目	結 果	試 験 方 法	
ホルムアルデヒド放散量 (mg/L) 7日後	① 不検出(測定下限値0.030) ② 不検出(測定下限値0.030) 平均 不検出(測定下限値0.03) 以 上	<p>JIS K 5601-4-1:2012「塗料成分試験方法— 第4部：塗膜からの放散成分分析— 第1節：ホルムアルデヒド放散量の求め方」 5. デシケータ法に準拠 依頼者の申し出により、以下の水の量を100 mLで行った。 5.8.1 b) 結晶皿の水の量100 mL 5.8.6 定量方法 a) 吸光光度法による。 5.9 d) 試験条件：温度23±2℃、湿度(50±5)% 5.9 e) 測定機器：吸光光度計、石英セル、光路長10mm 5.9 f) 空試験の値：0.0022Abs(吸光度) 5.9 g) その他の必要事項 希釈溶剤の有無及び希釈率：希釈なし 塗装回数：1回塗り (はけ塗り) 塗り付け量 (希釈前の塗料換算量)：20 g/m² 試験板の種類：アルミニウム板 試験期間 2020年 7 月 27 日～2020年 8 月 4 日</p>	

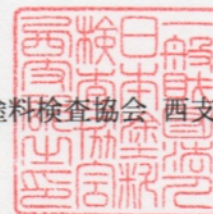
2020 年 8 月 20 日

依頼 No.205931

徳永家具工房 殿

ホルムアルデヒド放散量測定検査証明書

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部



支部長	担当者

登録塗料分類 []

商品名; t a t a r a 撥水無機ウッド (撥水無機ウッド)

測定条件

項目	条 件
希釈率	— で — %希釈 (外割)
塗付回数	1 回塗り (はけ)
塗料密度	0.83 g/cm ³ (23℃) (依頼者提出書類による)
合計塗付量	20 g/m ² (希釈前の塗料換算量)
塗付インターバル	— 時間
試験片	150 mm×150 mm× 2 枚 (素材: アルミニウム板)
実塗装面積	450 cm ²
養生時間	7 日間 (2020 年 7 月 27 日開始)
養生条件	温度; 23℃ 湿度; 50%
捕集時間	24 時間 (捕集終了: 2020 年 8 月 4 日)

※ 本様式に記載する測定方法は、JIS K 5601-4-1:2012 デシケータ法による。(測定は n=2 で実施)

※ 塗付量は、商品の塗装仕様書、商品ラベル等の記載内容の上限値を下回らない量を塗付ける。

※ 測定を実施する場所 (事業所) で試験片の作製を行うこと (試験片作製後の移送不可)。

※ 養生は JIS K 5600-1-6 の標準条件 (温度 23±2℃、湿度 50±5%) により、7 日間行う。

測定結果 分析日 2020 年 8 月 4 日

定量方法		吸光光度法		
		デシケータ 1	デシケータ 2	平均
検量線の傾き F		7.8150		
吸光度又は ピーク面積	A d	0.0029	0.0025	
	A b	0.0022		
濃度 G (mg/L)		不検出	不検出	不検出